

黒豆煮汁プリン

(黒豆を煮るとたくさん余る煮汁。その煮汁で作るプリンです。)

材 料【4人分】

・黒豆の煮汁	150g	・粉ゼラチン	5g
・牛乳	200g	・黒豆	12粒
・栗の甘露煮	4つ		

①



ナベに煮汁と牛乳を入れて弱火にかけ、温まったら粉ゼラチンを加えて溶かす。

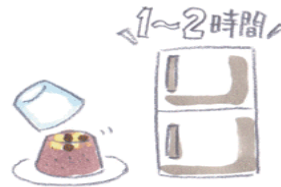
②

栗の甘露煮を食べやすい大きさに切り、黒豆と一緒にプリン型の底に入れたら①を静かに注ぐ。



③

粗熱が取れたら冷蔵庫で1~2時間冷やし、固まったら型から外して出来上がり。



みんな!
ごはんにするよ★



無垢・天然木でオーダー家具をつくりませんか?

南会津で乾燥中だった姫小松を会社の倉庫へ移しました。木は使う地域での乾燥が必要なのですが、この冬を超えればとうとう関東でも使えるようになります。皆さんのお宅にも天然木の家具をいかがですか? いい木でつくる家具は親子何世代にもわたって使えますよ。



姫小松の
オーダーテーブル

姫小松はどんな木?

姫小松は植林できないので自生していないと手に入らない希少な木です。山の尾根スジにひっそりとあでやかに立つ姿が姫のようなので姫小松と名付けられました。フレッシュな香りの中に少し甘さが混ざる香りには木ロドリールという成分が含まれています。この成分は女性のホルモンバランスを安定させるといわれています。



～ 家づくりをきっかけに
「体と心がよろこぶ暮らし」を考える ～

自然素材の 注文住宅 リフォーム 不動産 駿河屋 創業1657年 株式会社

0120-124-029

〒131-0033 東京都墨田区向島1-24-16-1階
https://www.surugaya-life.jp info@surugaya-life.jp



Instagram



facebook



編 集 後 記



新しい年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。
慣れ親しんだ平成も今年が最後ですね。昭和生まれの私としては平成生まれのスポーツ選手が登場したときなんかは衝撃を受けましたが、何年後かにもう一度その衝撃をうけることができそうで楽しみです。

それにしても次はどんな元号になるんでしょうか。気になりますね～

広報 奥山



駿河屋
SURUGAYA
SINCE 1657



空まめの木

家づくりをきっかけに『体と心がよろこぶ暮らし』を考える建設・不動産会社です

2019年1月号



駿河屋施工の “石英書房”さんOPEN!

駿河屋で施工させていただいた石と古本のお店“石英書房”さんが墨田区向島でオープンしました。店主・水川さんの「好き!」と思うこと・もの達を集めたというお店の中は、古本や古い小物、石など楽しい世界が広がります!



静かで少し懐かしい香りのする店内で本や石を眺めていると、子どもの頃の図書館で過ごしたような懐かしい思い出がよみがえります。お近くにお越しの際はぜひ足をお運び下さい。お宝が見つかるかも!?
営業日は火曜・金曜の12時～18時プラス不定営業となります。オープンの際は目印としてお店の入り口に黄色い三輪車が出ています。



石英書房
東京都墨田区向島1-14-8
sekieshibou@gmail.com
090-8441-9762



営業日はこちらの
ブログで確認
ください

社長のひとりごと

老舗の跡取り息子は色々と苦悩が多いものです。僕の場合は「これからは木材の時代ではない。家業は継がず、のれんは継げ」と育てられたので、「大人になったら建設会社をつくらう」と強い夢を描いて建築の道を志しました。では、我が息子はどうなんでしょうか。
親や身内の期待を背に10代目として育てられたせいか、一時期は僕を避け、会話も無い時期もありました。「これではいけない」と思い、跡取りの事は一切言わないようにしました。
代わりに僕自身が「駿河屋を誰もが経営させて欲しいと言われる会社する」という想いで頑張っています。

家庭では仕事で嬉しかった事や、感動した事、お客様とのご縁や繋がりなどを沢山話すようにしました。
その結果、なんと! 数学のニガテな息子ですが、自らの意思で工学部建築学科へAO受験、そして合格しました! 皆さまに感謝致します!
ありがとう御座います!



駿河屋九代目 一樹



現場物語

～現場で日々起こる、あんな事こんな事～

～生活を見守ってくれてきた 木の再利用で思い出を次の家に～

西東京で築42年のお家の建て替え工事がはじまりました。建て替えにはまず解体が必要ですが施主さまが長年暮らしてきたお家です。でいざ解体となると少し寂しさを感じます。約半世紀も頑張ってきたお家です。で傷んでいるところも多いのですが、まだまだ使える木材もたくさんあります。今回のお家では柱や床板、玄関の框(かまち)など立派な木材がたくさんありました。こうした木材は大切に保管しリメイクできるものは新しく建つお家でも使用します。廃材が減るエコにも繋がりますし、なによりこれまでの生活を見守ってきた木です。で大切な思い出がたくさん詰まっています。



工事部 今野渉輝

新しくなる家でも柱を見た時にふと懐かしい思い出が蘇る。そんな心の込もった家づくりをしたいと思っています。

良質の木は何十年も使えます！昔の家では今買おうと手が出ないような貴重な木も使われていたりするんですよ！



大工棟梁の阿部さんの手で框が蘇ります



和室の柱と奥の床板。床板は立派な檜の一枚板です。

玄関の框もメンテナンスで蘇りそうです！

駿河屋

ニュース



市原農園で野菜の栽培

～生産者の苦勞や喜びを知るための課外活動～

冬野菜の収穫と おいしいお便り



9月に植えたときは苗や種でこんなに小さかったのに

こんなに立派に育ちました！！



千葉県の市原にある畑で無農薬野菜の栽培を実践している私たちですが、冬野菜の収穫を今年も無事に終えることができました。9月の下旬に苗付けした野菜も2ヶ月半でご覧の通り、見事な大きさに育ちました。無農薬ならではの苦勞もありますが収穫はいつでも嬉しいものです。

そんな大事に育てた野菜のことで先日嬉しい出来事が。収穫した野菜を工事中のお客様におすそ分けしたところお料理した写真を送ってくださいました。白菜、大根、キャベツ、見事にお料理された写真の中には大根の葉っぱまでつかっていただいた料理も！野菜を大事に食べていただけたことを知れて私たちも感無量です。ありがとうございましたm(_ _)m

お料理の写真たくさん送っていただきました～
美味しそう！



居心地のいい家づくり

1. 毎日のキッチンを使いやすく

毎日使うキッチンだからこそ、使いやすくしたい所です。今のキッチンの収納のお悩みは何ですか？ 取り出しづらい物は何ですか？ 普段、何気なく使っているキッチンの事を考えてみると、本当は使いづらいと思っていることが見えて来ます。毎日使う場所だからこそ、見直してみましょう。

2. 使っていないものはありますか？

キッチンには色々な種類のアイテムがあります。また、新しい便利グッズも開発され、年々物が増えていきます。そんな中、使っているアイテムは実は限られています。お鍋やフライパン、いつも使っている物は限られていて、使っていない物の方が多くなってませんか？ 一度全部のお鍋を取り出して、「使っている」「使っていない」を分けてみてください。使っていないに付けられたお鍋、捨てられない方は、一度別の場所に移動させてみてください。半年経って、それらが無くて、お料理に困らなければ、その時に処分しましょう。

3. 賞味期限切れをなくす

どのお家でも、買い置き食品の賞味期限切れが起きています。賞味期限切れを起こしやすい買い置き食品は何ですか？ 何を買いすぎているですか？ それが無いと本当に困りますか？ 今、24時間空いているスーパーもあります。買い置き食品の買いすぎも見直してみてください。

～キッチンの収納～



ワワワ Kid's

家族団らんの休日



家族がそろうお正月。実家に帰省したり、旅行に出掛けたり、様々な過ごし方がありますがゆっくり家族団らんする日をつくるのはどうでしょうか？ 今回は1月の定番の遊びをご紹介します。

①福笑い

お正月定番で難しいルールが無く、中には3歳未満のお子さんでも楽しめるかもしれません。

②かるた

こちらもお正月定番ですね。小さいお子さんはママとタッグを組むなどして、サポートしましょう。また絵柄がキャラクターですと選ぶカードを連想できるのでオススメです。アンパンマンかるたなどは絵柄で判断しやすいですよ。考えたり想像する事で脳の活性化に繋がります。

③すごろく

年始めの運試しにも！「モノマネをする」などの指示があると盛り上がること間違いなしです。

色々ご紹介しましたが、家族みんなで手作りするのも良いですよ。福わらいは画用紙に顔の輪郭・眉毛・目・鼻・口などパーツを書いて切り取るだけ。子ども達だけでチャレンジできます。すごろくは指示内容をみんなで考えながら作る楽しみもあります。サイコロも展開図を作りテープを貼れば作れます。かるたも画用紙をカットし、絵と字を自分達で書きましょう。子どもに絵を書かせてから大人が読むカードを書いてあげても良いですね。手作りだと家計も助かりますし、素敵な思い出が出来るはずですよ。家族団らんのお正月を楽しんで、新年も仕事や家事・育児を頑張りましょう。